



体力づくり

南国市が雇用促進事業団の援助を受けて建設する南国勤労者体育館の起工式が、10月7日、南国市片山の現地で行われ、関係者ら約30人が出席しました。
この体育館は鉄筋コンクリート造り平屋建て（建築面積919.7㎡、延床面積122㎡）で、アリーナ（体育室）のほか、更衣室、談話室、管理室などを備えています。
オープンは来年4月の予定。



カメラリポート

「貫之御膳」誕生！

南国市に平安時代の料理を再現した「貫之御膳」が誕生！
その試食会が十月八日、南国市保健福祉センターで行われ、南国市長、中央保健所長ら三十八人が出席しました。
これは食生活改善推進協議会（森田百合子会長）が昔から家庭や地域に伝わる料理を見直そうと計画、リョウキョウ、ミョウガ、タケノコを使ったすしやタイモ、イカとネギの酢みそあえなど塩分少なめのヘルシーメニュー二十四品目が再現されました。
十一月三日に開催される「健康文化都市国際フォーラム」をかわきりに、各種イベントを通じて地域に広めていくことになっています。



空の日

9月19日、高知空港で「空の日」「空の旬間」の記念事業が行われました。
今年が高知空港のジェット化10周年でもあり、会場は親子連れらでたいへんにぎわい。セスナ機やヘリコプターの展示、ウルトラクイズ、空港探検わくわくパスなど多彩なイベントがあり、天候にも恵まれたこの日、大勢の人たちが集まり、楽しんでいました。



尾車親方を迎えて健康づくり講演会



健康づくりの意識を地域に広めてもらおうと、南国市が主催する「南国市健康づくり講演会」が10月9日に開かれ、約250人が参加しました。
会では、大相撲の尾車親方（元大関琴風）が「七転八起の相撲人生」と題して講演。そのほか太極拳教室、ミニ健康展、体脂肪検診などが行われ、参加者は自分の健康について見直すよい機会になったのでは！

十月二日市民体育館で、市内各地区から約千人のお年寄りが参加して、老人体育大会が開かれました。これは、老人がスポーツを通じて健康の保持をはかり、生きがいを高めることを目的に、市老人クラブ連合会などの主催で行われたもの。
参加者は八チームに分かれ、にぎやかな声援の飛び交う中、「グレートボール」「ボーリング」「玉入れ」など工夫を凝らした競技を力いっぱいプレイしました。

ハッスルプレー



目で見て学習

十月十二日、南国耕地事務所主催の「小学生の社会見学・農業農村整備事業現地めぐり」が行われ、長岡小学校五年生四十九人が参加しました。
この行事は県の農業農村整備事業のPR活動の一環として行われたもの。
子供たちは土佐山田町新設で実施されているほ場整備事業や県営かんがい排水事業で改築された「山田せき」を見学、それぞれの事業の役割や将来の農村のあり方などを学習しました。



王さまとまほうつかいのチヨモチヨモ

南国市子ども劇場第二十三回例会公演が、九月二十六日、長岡西部体育館で上演され、子供と大人四百八十人が人形劇に魅了されました。
「王さまに気まぐれなまほうつかいチヨモチヨモがとりつきました。さあ、大変！お城の中は大騒動。王さまがわがままを言った。乱暴をはたらいたり！」

